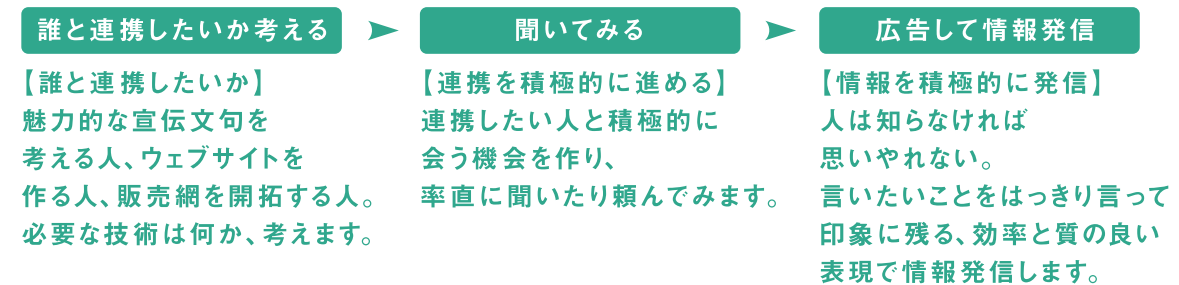


農山漁村の価値を伝える。



農山漁村を大事にする人が増えて価値も高まる。

**伝える人と
組む**

伝える人を簡潔明瞭な一文に凝縮するコピーライター、
パッケージデザイナー、ネットショップ販売のホームページを作る
ウェブデザイナー、裏付けを明文化する研究者、博物館の学芸員、
環境コンサルタント、コーディネーターなど
様々な職種の人と協働する積極性がプロジェクトを成功させます。

恩納村の里海づくり

見出した事例

恩納村漁業協同組合と
水産加工品メーカー・井ゲタ竹内は協力して
高品質の寄付つき味付けモズクを販売、
その寄付でサンゴ礁再生を核に
里海づくりに取り組んでいます。



マルマタ林業の森づくり

伝えた事例

九州最大規模の大分県日田市
マルマタ林業株式会社は
林道沿いに広葉樹を残したり、
大学生の林業体験を受入れたり、
フォレスト協議会の仲介で
フォレストストック認証購入企業である
東京スタイルの顧客を受入れ
「森で美しく癒される旅」森林ツアーを
行ったりしています。



農山漁村の価値を高める人たちと 連携を進めよう。

農山漁村の保全活動を知るには

タイトル	内容	
保全手法	生息環境向上技術マニュアル (農林水産省H23) 各地方農政局にお問合せください。 農村の生物多様性把握・ 保全マニュアル (農林水産省H24) http://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/k_hozen/pdf/manual.pdf 生物多様性保全管理 手法事例集 (農林水産省H24) http://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/k_hozen/pdf/jirei.pdf	農村地域において生物の生息環境を 保全向上させる取組を行う際の マニュアル 生物調査の手法、地域主体における 生物多様性を理解する手法や地域が 主体的に実施可能な保全手法 全国で実施されている魚道の設置や 水路内環境改善などの 具体的な保全手法や事例
評価手法	生きもの豊かな 農業水路を目指して (農林水産省H19) http://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/k_suiro/pdf/suiro_hyouka.pdf 生物生息環境保全の観点から、 農業水路を簡便に 評価・分析するための手法	
外来生物対策	農村地域における 外来生物対策 (農林水産省H20) http://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/k_gairai/index.html 外来生物による土地改良施設や生態系への 影響を把握するとともに、 未然に侵入を防止する方法や、 侵入した外来生物を防除する方法	

農山漁村の保全活動を支援する制度

制度名	内容	問合せ
森林・山村多面的 機能発揮対策	地域住民が森林所有者、NPO法人、 民間団体などと一緒に活動組織を作って、 里山林の保全管理や資源を利用するための 活動に対して支援する事業	林野庁森林利用課 山村振興・緑化推進室 03-3502-0048
法人の森林	企業や団体等と国が共に森林を 造成・育成し、伐採後の収益を 一定の割合で分け合う制度(分収林制度)	林野庁業務課 国有林野管理室 03-3502-8383

作成者・問合せ先
農林水産省大臣官房政策課環境政策室
東京都千代田区霞ヶ関1-2-1 03-6744-2017
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
大阪府大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA 06-7637-1480

➡ さらに詳しい「自然資本を活かした農林水産業の手引き」がダウンロードできます。
http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/s_ikimono/index.html



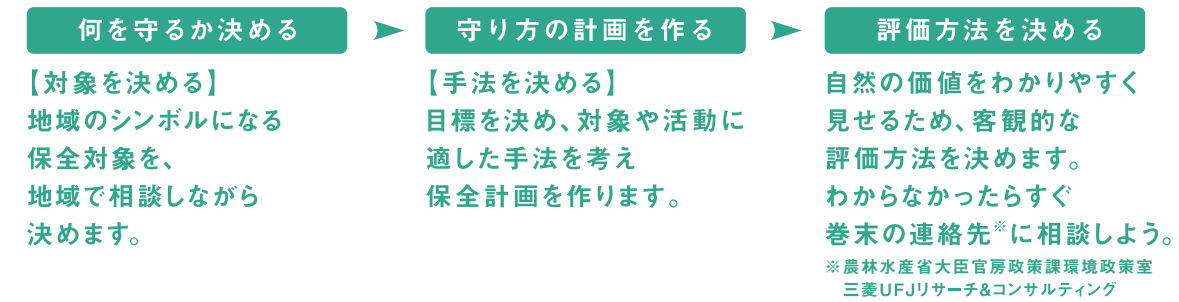
The 自然資本

生物多様性保全の経済的連携に向けて
自然資本の経済価値をわかってくれる企業と連携して、
自然を、農林水産業を、豊かにしよう。



農林水産省

農山漁村の価値を見出す。



農山漁村のことをわかってくれる人が増える。

自然の価値の経済評価って？

農山漁村の自然の価値を金額で表すことです。
現在日本各地の自然の価値が試算されています。参考にしてください。
(金額の単位は世帯当たり/年間です)

地域	対象	守るため支払ってもよい額	その全国総額
北海道浜中町	シマフクロウ	2,200円	1,143億円
長野県根羽村	森林内の動植物	2,436円	1,266億円
広島県世羅町	里山の動植物	2,384円	1,238億円
熊本県阿蘇市	草原固有の動植物	1,974円	1,026億円
大分県日田市	森林内の動植物	2,239円	1,163億円
長崎県対馬市	ツシマヤマネコ	2,423円	1,259億円
沖縄県恩納村	サンゴ礁	2,370円	1,231億円

認証制度・生きものマーク

自然や生きものに配慮して生産された、という価値を商品やサービスに付加する
ラベルやロゴマークのこと。最近米などの農作物以外でもマークをつけている
商品が増えました。価値を評価し、購入動機とする生活者が増えています。



【認証制度・生きものマークの事例(左上より)】
[緑の循環] 認証会議 / FSC® 認証 / レインフォレスト・アライアンス 認証
カーボン・オフセット 認証ラベル / MSC 認証 / ASC 認証 / 「朱鷺と暮らす郷づくり」 認証制度 / 阿蘇草原再生シール